

「令和5年度いわて新農業人チャレンジファーム第7回研修を開催しました！」

第7回の研修は、令和5年6月23日(金)、24日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、水稻と気象、えだまめとねぎの栽培に関する講義を行いました。実習ではえだまめのは種、ねぎの定植、実習野菜の栽培管理・観察を行いました。

水稻と気象についての講義では、平成5年に発生した記録的な大凶作等の作況指数の推移、昭和50年以降の岩手県における農業気象災害の説明を受け、本県で被害額が特に大きい気象災害は低温・日照不足による冷害であること、昨今の気象変動により平成15年以降は冷害が発生していないことを学びました。

併せて、幼穂形成期や減数分裂期における生育ステージでの主な管理作業や気象災害に対応するスマート農業技術、平成5年度の冷害以降の作付け品種構成の推移を学びました。

次に、えだまめとねぎの栽培方法についての講義では、えだまめは加湿土壤に弱いこと、収穫時期は3～5日と狭いため、適期に収穫すること、また、ねぎは土寄せの頻度と土寄せ量や高さがポイントとの説明を受けました。

実習では、えだまめのは種とねぎの定植、栽培野菜の管理・観察を行いました。

えだまめのは種後、防鳥ネットを設置しました。初めての作業のため苦戦していましたが、受講生全員が息を合わせ、きれいに設置できました。

また、ねぎの定植では、チェーンポットを使用したねぎ苗を見て、利便性に興味していたようでした。

第8回の研修は、7月7日(金)、に雫石町の有限会社ファーム菅久様へ現地研修に伺う予定です。また、現地研修終了後は南畑へ戻り、栽培野菜の管理等を行う予定です。



講義「水稻と気象について」の様子



えだまめのは種における防鳥ネット設置の様子



ねぎの定植の様子



栽培野菜の管理の様子
(ピーマンのわき芽かき)